

としまち研会報 第106号

おいらのまち

発行 NPO 都市住宅とまちづくり研究会 理事会

設立20周年を迎えたNPO としまち研

私は、46歳で大学卒業以来勤務していた建設会社を退職し、翌1995年6月に千代田区神田紺屋町の事務所を借りて不動産・開発コンサルティングの会社を設立しました。その後、大槻敏明先生、本間充一さん、坂口耕司さん、平石郁夫さん、葛西充さんなどと1995年9月から毎月第一木曜日の勉強会「一木会」を始めました。そんなお付き合いのなかで1997年に『みらい』都市居住促進研究会をつくり、神田のまちが直面していた都心の過疎化～住人の激減、昔からの小中学校の統廃合など～の現実を調査・研究し、机上の勉強だけでなく実践しなければ意味がないとメンバーの意見が一致しました。



▲としまち研設立発起人会(2000年7月)

そして2000年7月、「神田型共同建替え方式の提案」というテーマの公開勉強会を開催し、いろいろな方に参加していただきました。葛西さんが声をかけてくれたなかに神田東松下町の地権者もいて、「共同建替えをしたいが、デベロッパーとは条件が折り合わず断られたので、相談に乗ってほしい。」とのこと。としまち研設立1ヶ月前の極めて幸運な情報でした。そんな追い風のなかで、2000年8月4日に34名でNPO 都市住宅とまちづくり研究会(略称: としまち研)を設立しました。

その後、としまち研は、共同建替え、コーポラティブハウス、マンション建替え、マンション大規模修繕、シェアハウスなどの「住まいとまちづくり」にかかわる事業を中心に取り組んできました。そして、2011年の東日本大震災では、縁あって宮城県東松島市の復興支援: 防災集団移転事業などにも延べ40名以上の方々と現地で寝起きを共にしながら取り組みました。

現時点では、コーポラティブハウスの取り組み案件が具体化していないこともあって、財政的には厳しい状況が続いておりますが、会員の皆さま、としまち研のお知り合いの皆さまのおかげで、「設立20周年」を迎えられました。

私は団塊の世代で、今年の誕生日がくると72歳になります。私と同年代の会員の方々もおりますが、これから活動の中心になっていく若い会員の皆さんを支え、「住まいとまちづくり」分野の頼りになる組織として当面30周年を目指して頑張っていきたいと思います! (としまち研理事長 杉山 昇)

東松島市あおい地区の記録冊子を宮城県に寄贈しました

としまち研会員で、現在は仙台のNPO つながりデザインセンターで活躍されている宮本愛さんを通じて宮城県地域復興支援課の方よりご連絡をいただき、「『日本一住みやすいまち』をめざして 東日本大震災からの復興」の冊子20部を寄贈させていただきました。県内各地のまちづくり協議会や市役所(地域づくり推進課)、まちづくり支援団体などにご紹介・配布していただけたとのことでした。

実は今春、復興支援委員会のメンバーで東日本大震災の復興に取り組む自治体などに冊子をお届けに訪問しようとして企画していたのですが、新型コロナウイルスの感染状況により実行できずにいます。

皆さまのお知り合いで被災地の復興まちづくりなどに取り組まれている方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

一木会のご案内（原則、毎月第一木曜日に行う勉強会・交流会です）

☆第295回一木会（2020. 6. 11）

JR 神田駅の高架下で 60 年以上営業してきた神田珈琲園のオーナーである八戸建氏に、高架の耐震補強工事により移転または退去の要請がありましたが、粘り強く交渉した結果、補強工事終了後に店舗を再建することになったお話をしてもらいました。スタッフ上田容史美さんには、初めてチャレンジしたクラウドファンディングについてお話をいただきました。



☆第296回一木会（2020. 7. 2）

大木祐悟氏に「都市農地問題について改めて考える」というテーマでお話いただきました。農業を続けたいが、本人の高齢化、後継者問題等農地法の制約があり続けられない、農地は宅地化すると相続税や保有税がかかり、維持するのが難しい、また、生産緑地の 2022 年問題など幅広い分野でお話をいただきました。



今後の一木会予定（会場＋オンラインで開催）

☆8月（8月6日）【第297回一木会】

テーマ：「小規模だからできる高経年マンションの再生について」

ゲスト：石川 修詞 氏（(株)タウン・クリエイション 代表取締役・(公社)東京共同住宅協会 会長・NPO コーポラティブハウス全国推進協議会 理事長ほか）

☆9月（9月3日）【第298回一木会】

テーマ：「定年後が楽しくなる住まい」

ゲスト：加部 千賀子 氏（一級建築士）

「神田珈琲園」再生プロジェクト クラウドファンディングで目標金額達成！

「神田珈琲園」再生プロジェクトでは、お店の再開に向けてクラウドファンディングにチャレンジしました。6月中旬から50日間で、260名超の方々にご支援いただき、目標金額250万円を達成しました。オーナーの八戸さんより、「一木会で話を聞いてくださった方からもご協力いただきました！」と喜びのメッセージもいただきました。応援してくださった皆さま、本当にありがとうございます。

店舗は7月15日（水）よりオープンされています。コロナ禍で飲食店もきびしい状況ですが、八戸さんやスタッフの皆さんがとびっきりの笑顔で迎えてくれますので、神田にお越しの際はぜひ足をお運びください。ちなみに新しい店舗の設計者は、としまち研理事の牧野恭久さんです。

（としまち研事務局 関 真弓）

□ 編集後記

神田珈琲園の引渡しが無事完了し、7月15日より約2年ぶりに営業を再開されています。鉄道高架下という特殊な環境での設計から始まり、オリンピックによる資材不足、そしてコロナ禍と様々な問題が発生しましたが、常に前向きな代表の八戸様・スタッフの皆様を支えられながら、最後には従前店舗の設計者である山本厚生様とお話する機会までいただき、とても印象深いプロジェクトとなりました。

再スタートを記念して、現在 2F ではこれまでの神田珈琲園の歴史と建替計画の写真や図面を展示していますので是非お立ち寄りください。（総務広報副部長 牧野恭久）



▲山本厚生さん・ヒカルさん夫妻と
神田珈琲園の新しい店舗にて

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町 33 COMS HOUSE 2階
TEL：03-5207-6277 FAX：03-5294-7326
E-mail info@tmk-web.com ホムパージュ http://www.tmk-web.com/
Facebook https://www.facebook.com/toshimachiken/
皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしております。

としまち研の現在の会員数
正会員 58人 賛助会員 30人
編集発行人 五十嵐 一博
事務局担当 関 真弓

